

2018年度 事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

特定非営利活動法人 ホロコースト教育資料センター

【1】事業の成果

創立20年を迎えた2018年度も、一人ひとりの命と人権を尊ぶ心を育むことを目指して、ホロコースト史を教材とした教育事業を実施した。

2018年度のトピックス

★訪問授業・講演会を計77回、国連制定のホロコースト国際デーの事業やセミナーなど自主事業を計6回、合計83回実施し、約13,500人に学ぶ機会を提供した。

★訪問授業「ハンナのかばん」実施のための新しいスタッフとして、劇団俳優4名をお話隊員として迎えた。

★ドイツ大使館から助成金をいただき、日本にただ一人暮らしているホロコースト生還者ヤーノシュ・ツェグレディさんの体験を伝えるビデオ教材「ヤーノシュとステューブンの物語」が完成！

★ドイツ外務省などから初めての助成金をいただき、貸出図書セット「ココロの本箱」を制作。

★初めてのヨーロッパスタディツアーを企画実施し、23名に参加していただくことができた。

【2】事業の実施に関する事項

1 教材の制作及び提供事業（展示パネルの貸出）

1-1 展示パネルおよび視聴覚資料の貸出は、下記の6回実施した。

1. 2018年6月7日	
貸出物	映画「アンネの日記 第三章」、パネル「アンネ・フランクと希望のバラ」
貸出先	フェリス女学院大学ボランティアセンター(神奈川)
目的	学内で育成されているアンネのバラにちなんだ平和学習の一環として。 (2003年にKokoro副理事長(当時)の故黒川万千代氏の講演会とアンネのバラ植樹式が行われて以来、毎年アンネの誕生日である6月12日前後に記念礼拝や図書館での展示が行われている。)
2. 2018年6月17日	
貸出物	映画「アンネの日記 第三章」
貸出先	由木教会(東京)
	「強制収容所解放73年と今又 人種や宗教や貧困の差別化が広がりつつあって73年前に戻るのかと不安感がある。オットー・フランクが娘達を救いたい思いが叶わなかった事や収容所から生還された事からの発信、オットー・フランクの思いを少しでも共有したい。」(貸出申請書より)
3. 2018年7月25日	
	パネル「ハンナのかばん」(データ貸出)
	Kokoro 会員・I.H.様
	目黒区からす森児童館での平和祈念おはなし会で紙芝居として活用
4. 2018年10月10日	
貸出物	映画「アンネの日記 第三章」
貸出先	福山市人権平和資料館(広島)
目的	世界人権宣言70周年記念企画展関連行事として
5. 2019年3月17日	
貸出物	映画「ハンナのかばん」
貸出先	新宿区総務部、新宿区平和派遣の会(東京)
目的	新宿区は、昭和61年3月15日、すべての国の核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を希求して「新宿区平和都市宣言」を行った。この趣旨を広く区民に知ってもらうための平和啓発事業の一環として
6. 2019年3月18日	
貸出物	映画「ハンナのかばん」
貸出先	鎌倉学園中学校高等学校(神奈川)
目的	アウシュヴィッツ見学を含む欧州研修の事前学習として

1-2 訪問授業の事後学習用に助成金で新しく「ココロの本箱」を制作した。

名称	ココロの本箱 Kokoro's traveling bookcase
内容	①訪問授業の後に読んでほしいおすすめの本 20 種、各 1 冊ずつ ②読書ノート
経緯	<ul style="list-style-type: none">・訪問授業を実施した直後は、子どもたちの興味関心がとても高い。もう少し詳しく知りたいという生徒に手を伸ばしてもらえるような教材を用意したいと考え、おすすめ本の貸出を始めることにした。ホロコースト関連の本は膨大にあるので、先生方にも参考にしてほしいと考え選書した。・選書の基準は、過去 15 年間実施してきた訪問授業の中で出てきた生徒から質問に答えるような本や、歴史への視野をさらに広げてもらえるような本。
対象	中学校、高校向け
貸出方法	原則として訪問授業の申込を受けた学校に貸出をする。授業が終わったあとで、図書室や教室に設置してもらおう。片道の送料を学校に負担していただく。
貸出先	2019 年 1 月から貸出をスタートして、下記の学校に届けた。 <ul style="list-style-type: none">・晃華学園中学校・聖心女子学院
課題	<ul style="list-style-type: none">・受け入れてもらうために、訪問授業担当の先生の負担にならないように司書教諭や学年主任の協力が必要。・本の紛失が心配で受け入れが難しい印象を受けた学校もあった。・事務所のスペースが限られているため、常に学校から学校へ巡回するような仕組みを作りたい。三学期の中学校訪問が集中するため、学年末で先生の異動などがあり、引き継ぎをお願いするのが難しい。・「ココロの本箱」の 20 冊をすべて図書館で購入して揃えた学校もあった。

2 書籍・資料などの収集及び提供事業

所蔵するホロコースト関連の本(和書 400 冊)と映像資料については、インターネット図書館「ブックログ」(<http://booklog.jp/users/therc>)を利用した情報収集・提供を重点的に行った。登録数は 1,381 冊。

3 講演会、セミナー等の開催事業

3-1. 訪問授業・講演会

○全国の小・中学校、高校、大学、自治体および自主企画を含めて83回、約13,500人を対象に実施した(昨年75ヶ所、13,300人)。命の授業、道徳学習、PTA主催講演会、人権研修会など様々な場で依頼を受けた。(カッコ内は昨年の数)

3-2. 当NPOの自主事業として下記のイベントを実施した

- 3-2-1. 2018年4月4日(水) ワカモノ哲学対話×アウシュヴィッツ
- 3-2-2. 2018年4月18日(水) ミハヤエル・ゴールドマンさんを囲む会
- 3-2-3. 2018年5月17日(木) ミレナ・グレンフェル・バインズさんを囲む会
- 3-2-4. 2018年6月16日()
- 3-2-5. 2018年8月25日(木) 上映会「アンネの日記 第三章～閉ざされた世界の扉」
- 3-2-6. 2018年9月20日(土) 映画「ハンナのかばん」上映会
- 3-2-7. 2018年9月29日(土) 上映会「イレナ・センドレローヴァ物語」
- 3-2-8. 2018年10月27日(土) 上映会「ハイドリヒを撃て」
- 3-2-9. 2018年12月23～30日 20周年記念企画ヨーロッパスタディツアー
- 3-2-10. 2018年1月27日(土) ホロコースト国際デー2019 in 東京

3-2-1. 2018年4月4日(水)

名称	ワカモノ哲学対話×アウシュヴィッツ
日時	2018年4月4日(水)
内容	東京大学の梶谷真司先生の「哲学対話」ワークショップへの参加をきっかけに、Kokoro主催事業や訪問授業の事後学習として実施の可能性を探るため、インターンおよび有志の大学生を対象に「哲学対話」を実施した。
会場	富士国際旅行社 会議室(東京都新宿区)
対象	Kokoroインターンおよび有志の大学生、計6名

3-2-2. 2018年4月18日(水)

名称	ミハヤエル・ゴールドマンさんを囲む会
日時	2018年4月18日(水)
経緯	2017年にイスラエルで面会したホロコースト生還者ミハヤエル・ゴールドマンさんが観光で来日したため、講演を依頼した。
内容	ミハヤエル・ゴールドマンさんの体験についてスライドで解説(瀧元)をしたのち、ミハヤエルさんをお迎えして講演をしていただいた。
会場	ユダヤコミュニティセンター(東京都渋谷区)

対象	Kokoro 会員を中心に、招待者、100 名
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市立大学、学習院女子大学、学習院大学の教授の紹介で多くの大学生に参加してもらうことができた。 ・アウシュヴィッツ生還者との対面はなかなかない貴重な機会のため、関心が高かった。休憩時間を取ると、個別にミヒャエル・ゴールドマンさんへの質問が殺到してしまうため、93 歳の高齢であることを考慮して、ゲストに負担のかからないように休憩時間は入れずに実施した。 ・ヘブライ語の通訳との打ち合わせやリハーサルができなかったため、講演内容が伝わりにくかった。 ・Kokoro 通信 vol.44(2018 年 7 月号)に会員の K.M.先生にご寄稿いただいた。

3-2-3. 2018 年 5 月 17 日(木)

名称	ミレナ・グレンフェル・バインズさんを囲む会
日時	2018 年 5 月 17 日(木)
経緯	イギリスよりミレナ・グレンフェル・バインズさんが来日し、Kokoro 面会の依頼をいただいた。ミレナさんは第二次世界大戦中にキンダートランスポートでイギリスへ逃れた体験をお持ちの方なので、学校訪問を提案したところ、快諾してくださった。アンネのバラを育てている東京女学館に提案したところ、受け入れと会場提供を協力していただけることになった。
内容	ミレナ・グレンフェル・バインズさんの講演と質疑応答
会場	東京女学館(東京都渋谷区)
対象	東京女学館アンネのバラ委員会の生徒さんを中心に、同行の中学生、高校生、教員、および Kokoro 会員とボランティア有志
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が限られていたが、東京女学館の先生方がキンダートランスポート関連図書を会場に並べてくださっていたため、終了後もミレナさんと会話を広げることができた。 ・Kokoro 通信 vol.44(2018 年 7 月号)に会員の U.N.先生にご寄稿いただいた。

3-2-4. 2018 年 8 月 25 日(木)

名称	上映会「アンネの日記 第三章～閉ざされた世界の扉」
経緯	NPO 創立 20 周年で初めての自主企画としてヨーロッパスタディツアーを実施することになり、手配事務を富士国際旅行社に依頼した。同社より会議室貸与の申し出をいただき、共催でスタディツアー関連のイベントを実施した。
目的	スタディツアーの企画を広報し、参加者を募集するために開催。ツアー参加希望の方々には事前学習の機会にもなるように実施した。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 映画「アンネの日記 第三章～閉ざされた世界の扉」上映 2. フォトワークショップ
会場	富士国際旅行社 会議室
対象	Kokoro 会員、一般参加者

3-2-5. 2018年9月20日(土)

名称	映画「ハンナのかばん」上映会
経緯	3-2-4と同じ
目的	3-2-4と同じ
内容	映画「ハンナのかばん」上映会
会場	チェコ共和国大使館(東京都渋谷区)
対象	100名
ゲスト	ドイツ連邦共和国ハンス・カール・フォン・ヴェアテルン大使 ホロコースト生還者ヤーノシュ・ツェグレディ氏

3-2-6. 2018年9月29日(土)

名称	上映会「イレナ・センドレローヴァ物語」
経緯	3-2-4と同じ。ポーランド広報文化センターより無償で映画の貸出を受けた。
目的	ポーランドでユダヤ人の子どもたちをゲッターから救い出したイレナ・センドレローヴァについてのドキュメンタリー映画。
内容	1. 上映会「イレナ・センドレローヴァ物語」2回 2. ワークショップ
会場	富士国際旅行社 会議室(東京都新宿区)
参加者	Kokoro 会員、一般参加者

3-2-7. 2018年10月27日(土)

名称	上映会「ハイドリヒを撃て」
経緯	2-3と同じ。
目的	第二次世界大戦時のチェコのレジスタンスとナチ高官暗殺についての映画。年末のスタディツアーで、レジスタンスの記念館(聖キリルと聖メトディウス教会)および暗殺の報復によって破壊されたりディツェ村の記念館を見学するため、事前の学習会として開催。
内容	1. 上映会「ハイドリヒを撃て」 2. ゲスト講演・江田伸男氏
会場	富士国際旅行社 会議室(東京都新宿区)
ゲスト	江田伸男(秩父ユネスコ協会)
参加者	Kokoro 会員を中心に、一般参加者。

3-2-8. 2019年12月23日(日)～30日(日)

名称	20周年記念ヨーロッパスタディツアー
経緯	2015年8月より大学生協「ヨーロッパピーススタディツアー」に7回同行する機会をいただいていた。これは大学生限定のツアーのため、Kokoro会員より一般参加が可能なツアーを実施してほしいというリクエストを受けた。そのため、団体創立20年の節目にKokoro企画で実施することとなった。
目的	誰でも参加できる一般に開かれた形でのスタディツアーを実施。ツアー参加に繋がらなくても、事前の関連企画を通して、学び考える機会を提供するために開催した。
訪問先	[ポーランド] アウシュヴィッツ・ビルケナウ博物館 ワルシャワの歴史地区、ゲッソー記念碑 クラクフの旧市街、カジミエシュ地区 [チェコ] テレジン収容所記念館 プラハ旧市街、旧ユダヤ人地区 レジスタンス記念館 リディツェ村
旅行企画実施	富士国際旅行社
参加者	23名
成果と課題	・初めての企画だったが、定員を超えて参加申込をいただいた。 ・参加者の皆さんの参加動機が多様だったため、事前の告知方法を次回は工夫したい。

3-2-9. 2019年1月27日(日)

名称	ホロコースト国際デー2019 in 東京
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・2005年に国連は、ホロコーストの歴史はすべての人びとに、差別や偏見、憎しみの危険性を警告しているとして、アウシュヴィッツ収容所が解放された1月27日を「ホロコースト犠牲者を想起する国際デー」と定めた。また、国連は加盟国に対して、ホロコースト史を教育の場でとりあげることを呼びかけている。NY国連本部や各地で、1月27日の記念式典をはじめ、様々な教育事業が開催されている。Kokoroでも、2015年から毎年1月に国際デーを開催してきた。 ・2019年は、ユネスコより映画「Who Will Write Our History」の世界各地同時上映開催の呼びかけを受けた。監督からも無償で上映用DVDを提供していただくことができた。
目的	ホロコーストの国際デー第五回目として開催。ホロコーストの歴史は、すべて人々が人間の差別や偏見について考え、自分事として乗り越えていくために、普遍的な教訓がある。その理解を日本国内でさらに広めたい。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 司会（日本ポーランド青少年協会） <ul style="list-style-type: none"> ・代表および来賓挨拶(イスラエル大使館公使) ・石岡映画紹介 2. 映画 Who will write our history 上映 3. 大学生の感想 4. 閉会 <ul style="list-style-type: none"> ・来賓挨拶(チェコ大使館臨時代理大使)
会場	ユダヤコミュニティセンター(東京都渋谷区)
共催	一般社団法人日本ポーランド青少年協会
参加者	Kokoro 会員、日本ポーランド青少年協会の関係者を中心に、40名
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・年末の初めての企画であるヨーロッパスタディツアーの実施があったため、開催準備は最小限となったが、日本ポーランド青少年協会の大学生たちが事前の参加者申込み受付事務や司会進行を担当してくれた。 ・ワルシャワ・ゲッソー内の残虐な暴行、略奪、飢えなどの実態を文書で残そうと抵抗したユダヤ人歴史家たちを描いた初めてのドキュメンタリー映画で非常に貴重な作品で、世界30カ国、150ヶ所の会場で上映された。日本語字幕なしで上映したため、再上映のリクエストをいただいた。 ・ユダヤコミュニティセンターのご好意で、会場・お茶の提供があり、映画鑑賞後に交流の時間が少し持てたことは良い機会となった。 ・インフルエンザ流行で欠席者が多かった。 ・大学生は試験と重なっていて参加しにくい時期だが、次回は、もう少し早い時期に大学生を中心とした実行委員会を立ち上げて実施する方法を模索してみたい。

4 人権・平和教育に関する普及啓発事業

4-1. 「Kokoro 通信」(ニューズレター)

Kokoro 通信(A4、6 ページ)を7月に500部発行し、会員を中心に、訪問授業/展示パネルを活用していただいた教員・保護者・自治体を中心に配布した。

4-2. 「Kokoro メルマガ」の発行

Kokoro メルマガは、4回発行した。イベント情報ほか様々な話題を各号約500名にメールで提供した。いずれも、ホロコースト史を教材とした人権教育の意義や成果を分かりやすく伝え、理解してもらうための手段として発行した。

	発行時期	タイトル
76号	2018年6月	哲学対話×アウシュヴィッツ
77号	2018年8月	アウシュヴィッツに旅してみませんか
78号	2018年11月	新刊『アンネのこと、すべて』
79号	2019年1月	国際デー上映会

4-3. その他のSNS(ソーシャルネットワークサービス)を利用した情報発信

ブログやフェイスブック、ツイッターなどのSNSによる定期的な情報発信を継続して行った。海外のニュースや、新刊図書のご案内、Today in History(今日は何の日)、など歴史を身近に感じてもらえるような情報発信を心がけた。イベント情報は特に学生が見てくれることが多かった。

4-4. メディア寄稿、取材

下記の雑誌、新聞、テレビで活動が取り上げられた。計 10 回。

1. 2018年7月1日	媒体 潮出版社、雑誌「ぱんぷきん」
テーマ・タイトル	平和の文化講演会／ハンナのかばんー悲しみを希望に変えて (実施報告)
成果	2018年6月20日掲載
2. 2018年12月5日	媒体 ケーブルテレビ
テーマ・タイトル	杉原千畝記念館でのハンナのかばん訪問授業
成果	放送(日時不明)
3. 2018年9月15日	媒体 平和新聞
テーマ・タイトル	ピースエッグ開催／向き合い、問い続ける／全国から90人が参加／少数の思いを聞く／社会を変える力に (日本平和委員会と現地実行委員会主催・平和について考えるイベント「ピースエッグ in 岡山」で講演を実施し、その報告が掲載された)
成果	2018年9月25日掲載
4. 2018年9月15日	媒体 平和新聞
テーマ・タイトル	ホロコーストを記憶する／「あなただったら」／安心して話せる場
成果	2018年10月5日掲載
5. 2018年10月2日	媒体 毎日新聞
テーマ・タイトル	演劇で「差別や思いやり考えて」／ホロコーストの実話活用／「劇団銅鑼」飛騨・古川小で人権学習のワークショップ
成果	10月3日掲載
6. 2018年10月3日	媒体 中日新聞
テーマ・タイトル	戦争の悲劇 演劇で学ぶ／国府中2年生と劇団俳優が稽古／ホロコーストで亡くなった13歳の主人公／来月13日「ハンナのかばん」共演
成果	10月4日掲載
7. 2018年10月3日	媒体 岐阜新聞
テーマ・タイトル	ユダヤ人少女迫害の劇控え学習／国府中生、差別や人権学ぶ／「ハンナのかばん」生死分けた場面体験
成果	10月5日掲載
8. 2018年11月	媒体 飛騨高山ケーブルテレビ
テーマ・タイトル	劇団銅鑼「ハンナのかばん」公演のための事前ワークショップと公演当日の様子
成果	2018年11月放送
9. 2018年12月5日	媒体 はらっぱ(公益社団法人子ども情報研究センター)
テーマ・タイトル	ホロコーストの歴史から学ぶ平和の人権～「ハンナのかばん」との歩みより／石岡史子(NPO 法人ホロコースト教育資料センター(Kokoro)代表)
成果	2018年12月号に寄稿
10. 2019年2月1日	媒体 文化放送「大竹まことゴールデンラジオ」
テーマ・タイトル	映画「ハイドリヒを撃て」公開に関連して
成果	2019年2月1日ラジオ出演

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
① 教材の制作及び提供事業	ホロコーストの教材パネルやビデオの制作・貸出	4回	全国の学校、自治体、市民団体など	1名	小中高校生、保護者及び教育施設関係者など 約5,000名	252,605
② 書籍・資料などの収集及び提供事業	ホロコーストに関する書籍・資料を貸出		事務所	1名	教育関係者、一般20名	531,228
	ブクログ(登録1270冊)	随時				
③ 講演会、セミナー等の開催事業	訪問授業および講演会	77回	小中高校、大学、公民館、先生や保護者	7名	小中高校生、大学生、教員、保護者、一般11,000人以上	2,887,976
	ワカモノ哲学対話×アウシュヴィッツ	4/4	富士国際旅行社		6人	
	アウシュヴィッツ生還者ミハエル・ゴールドマンさんを囲む会	4/18	ユダヤコミュニティセンター		100人	
	スタディツアー関連企画 上映会・ワークショップ 「アンネの日記 第三章」 「ハンナのかばん」 「イレナ・センドレローヴァ」 「ハイドリヒを撃て」	8/25 9/20 9/29 10/27	富士国際旅行社		100人	
	20周年記念ヨーロッパスタディツアー	12/23～30	ポーランド チェコ		23	
	ホロコースト国際デー2019 in 東京	1/27	ユダヤコミュニティセンター		40	
	④ 人権・平和教育に関する普及啓発事業	ニュースレター作成・配布	1回(7月)		事務所	
メールマガジン	4回	2名	350名			
ホームページ、ブログ	随時	2名	不特定多数			
メディア寄稿・出演	10回	1名	不特定多数			
SNSツールの活用	毎日	2名	52205人～不特定多数			